

平成29年2月15日

平成28年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」について

このたび、平成28年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」を実施し、調査結果の概要を別紙のとおり取りまとめましたのでお知らせします。
スポーツ庁においては、この調査結果も踏まえて、ライフステージに応じたスポーツ活動の推進とその環境整備を行い、成人のスポーツ実施率を週1日以上が65%程度、週3日以上が30%程度となることを目指してまいります。

1. スポーツ実施率について

- 週1日以上運動・スポーツをする成人の割合は42.5%、週3日以上では19.7%。20代～40代の実施率が低く、男女とも70代が最も高い。
- 「この1年間に運動・スポーツはしなかった」かつ「現在運動・スポーツはしておらず今後もするつもりがない」と答えた者が27.2%存在している。

【参考】平成27年度内閣府「東京オリンピック・パラリンピックに関する世論調査」では、週1日以上のスポーツ実施率は40.4%、週3日以上は16.6%。調査方法が異なるため単純比較はできない。

2. 実施状況の変化の要因

- 運動・スポーツを行った理由としては「健康のため」が77.4%と最も多く、「体力増進・維持のため」(53.0%)、「楽しみ・気晴らしのため」(45.1%)が続いている。
(複数回答可)
- 実施頻度が減ったあるいは増やせない理由としては「仕事や家事が忙しいから」(32.8%)が最も多く、「面倒くさいから」(24.0%)、「年をとったから」(15.9%)、「お金に余裕がないから」(14.2%)などが続いている。(複数回答可)

3. 「みる」「ささえる」スポーツについて

- この1年に直接現地でスポーツ観戦を行った者は24.7%。
- この1年にスポーツに関するボランティアに参加した割合は6.1%。スポーツ実施頻度が高い層ほど参加率は高い。内容としては「運動・スポーツの指導」（参加した者のうち28.1%）が最も多く、「審判」（同23.2%）「クラブ・団体の運営や世話」（同23.2%）が続いている。

4. スポーツの価値について

- 運動・スポーツについて「大切」「まあ大切」としている者の割合は65.9%。運動・スポーツに対する価値は、運動実施頻度が高い層ほど強く感じている。

本調査結果の詳細については下記のURLを参照ください。

http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/toukei/chousa04/sports/1381922.htm

※ 調査について

本調査は昭和54年度から概ね3年ごとに実施してきた「体力・スポーツに関する世論調査」（平成27年度のみ「東京オリンピック・パラリンピックに関する世論調査」）の質問項目の一部を踏襲しているが、調査方法に関しては調査員による個別面接聴取（標本数3,000人）から登録モニターを対象としたインターネット調査（標本数20,000人）に変更している。また、前回までの調査の対象は20歳以上の男女であったのに対し、本調査の対象は18歳～79歳の男女としている。

【担当】 スポーツ庁健康スポーツ課

課長 井上 仁

専門職 板橋 健児

TEL 03-5253-4111 [内線 3939]

平成28年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」結果の概要

○スポーツ実施率について

週1日以上運動・スポーツをする者の割合は、**20歳以上男女の平均で42.5%**。
20-40代の実施率が低く、特に女性は30%未満。男性は40代が最も低くなっている。
 女性は50代以上、男性は60代以上で実施率が上昇し、**男女とも70代が最も高い**。

年代別運動実施率 週1日以上 n=20,000

	全体	男性	女性
全年代平均	42.7%	44.3%	41.1%
10代	49.8%	55.1%	44.2%
20代	34.5%	40.8%	27.8%
30代	32.5%	37.2%	27.7%
40代	31.6%	34.2%	29.0%
50代	39.4%	36.3%	42.4%
60代	54.4%	52.8%	55.6%
70代	65.7%	68.1%	63.2%
成人のみ	42.5%	44.0%	41.0%

週3日以上

	全体	男性	女性
	19.7%	21.0%	18.4%
	18.6%	24.8%	12.1%
	12.1%	14.0%	10.1%
	11.7%	14.1%	9.1%
	12.3%	14.0%	10.5%
	16.4%	14.6%	18.3%
	27.7%	28.5%	27.0%
	41.2%	44.5%	37.6%
	19.7%	20.9%	18.5%

「この1年間に運動やスポーツはしなかった」

かつ「現在運動・スポーツはしておらず、今後もするつもりはない」と答えた者が**27.2%**存在している。

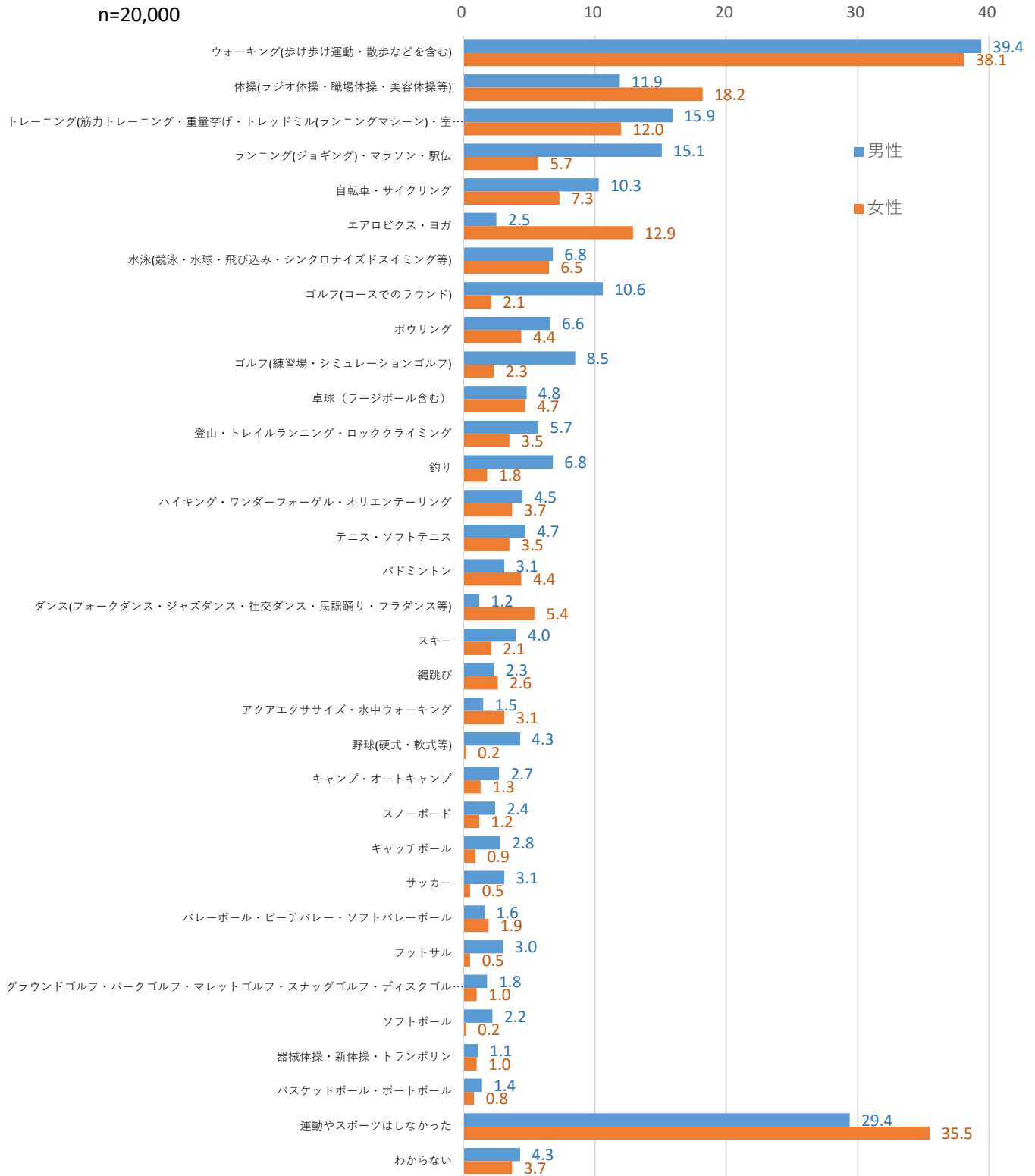
Q20.運動・スポーツについて現在の実施状況と今後の予定について

(成人のみ) n=19,506

	全体	男性	女性
現在定期的に運動・スポーツをしており、6ヶ月以上継続している	33.1%	36.3%	30.0%
現在定期的に運動・スポーツをしているが、始めてから6ヶ月以内である	3.3%	3.1%	3.4%
現在運動・スポーツをしているが、定期的ではない	16.2%	17.9%	14.5%
現在運動・スポーツはしていないが、6ヶ月以内に始めようと思っている	11.7%	9.3%	14.0%
現在運動・スポーツはしておらず、今後もするつもりはない	35.7%	33.4%	38.0%
→うち、この1年間に「運動やスポーツはしなかった」と答えた者	27.2%	25.3%	29.0%

○この1年間に実施した種目について

この1年間に実施した種目については、「ウォーキング」がトップで、「体操」「トレーニング」が続いている。
男性は上記以外に「ランニング」「自転車」や「ゴルフ(ラウンド)」等、女性は「エアロビクス・ヨガ」の割合が高い。



※この1年間に実施した種目として選択された種目のうち、男女平均の割合が1%以上だったものを割合の多いもの順で表示

○実施状況の変化とその要因について

●運動・スポーツを実施した理由

運動・スポーツを行った理由としては、「健康のため」が最も多く、「体力増進・維持のため」が続いている。

Q16.この1年間に運動やスポーツを実施した理由

(この1年間に運動した者に対し)
n=12,707

	全体	男性	女性
健康のため	77.4%	76.8%	78.0%
体力増進・維持のため	53.0%	53.0%	53.0%
楽しみ、気晴らしとして	45.1%	44.0%	46.3%
運動不足を感じるから	43.3%	40.1%	46.8%
筋力増進・維持のため	33.8%	31.9%	35.9%
肥満解消、ダイエットのため	22.2%	17.3%	27.6%
友人・仲間との交流として	19.8%	19.8%	19.9%
家族のふれあいとして	8.8%	6.7%	11.0%
美容のため	6.4%	1.5%	11.7%
自己の記録や能力を向上させるため	6.0%	7.3%	4.5%
精神の修養や訓練のため	5.8%	6.7%	4.8%

●阻害要因

運動・スポーツの阻害要因として「仕事や家事が忙しいから」「面倒くさいから」「年を取ったから」等が挙げられる。

Q29.1年前と比べて運動・スポーツを実施する頻度が減ったまたはこれ以上増やせない(増やさない)理由

(現在の運動頻度に満足していない者に対し)
n=18,844

	全体	男性	女性
仕事や家事が忙しいから	32.8%	31.5%	34.2%
面倒くさいから	24.0%	20.0%	28.0%
年をとったから	15.9%	16.7%	15.2%
お金に余裕がないから	14.2%	12.2%	16.2%
運動・スポーツが嫌いだから	10.0%	5.9%	14.1%
病気やけがをしているから	7.8%	7.3%	8.2%
場所や施設がないから	7.4%	6.6%	8.2%
生活や仕事で体を動かしているから	7.2%	5.6%	8.8%
仲間がいないから	7.1%	6.8%	7.3%
運動・スポーツ以上に大切なことがあるから	6.4%	6.0%	6.8%
子どもに手がかかるから	6.4%	3.7%	9.0%
指導者がいないから	1.6%	1.4%	1.8%
特に理由はない	22.2%	25.7%	18.8%

○スポーツを「みる」「ささえる」

観戦した種目については「プロ野球」・「高校野球」・「Jリーグ」・「マラソン・駅伝」等が多い。Jリーグについては直接観戦は多いが、TV・インターネットでの観戦は少ない。

Q33.この1年間にどんなスポーツを観戦しましたか

n=20,000	直接現地で	TV・インターネットで
プロ野球	12.7%	43.7%
Jリーグ	4.6%	14.9%
高校野球	3.7%	33.2%
マラソン・駅伝	2.0%	28.7%
大相撲	1.7%	26.0%
ゴルフ	1.7%	17.0%
サッカー日本代表	1.4%	31.6%
テニス	1.4%	28.1%
フィギュアスケート	1.1%	27.9%
陸上	1.0%	21.2%
水泳	0.8%	24.5%
体操・新体操	0.7%	21.5%
バドミントン	0.7%	16.4%
見た	24.7%	68.1%
見なかった	75.3%	31.9%

スポーツに関するボランティアに参加した割合は6.1%。うち日常的・定期的に行っている者は2.2%。
 スポーツ実施頻度が高い層ほど参加率は高い。
 ボランティアの内容としては「運動・スポーツの指導」がトップで、「審判」「クラブ・団体の運営や世話」が続く。

Q35.この1年間にスポーツに関するボランティアを行いましたか

Q36.(Q35で「日常的・定期的に行った」「イベント・大会で不定期に行った」と答えた者に)その活動の具体的な内容

n=20,000	
日常的・定期的に行った	2.2%
イベント・大会で不定期に行った	3.9%
行っていない	89.1%
わからない	4.8%

n=1,220	
運動・スポーツの指導	28.1%
スポーツの審判	23.2%
スポーツクラブ・団体の運営や世話	23.2%
スポーツ施設の管理の手伝い	12.2%
大会・イベントの運営や世話	33.4%
自身やお子様が所属するスポーツ団体やクラブでの補助的な活動	14.3%
その他	0.7%
わからない	9.0%

※「運動実施状況」とのクロス集計

n=20,000	週1日以上	週1日未満	未実施	全体
日常的・定期的に行った	3.4%	1.5%	0.4%	2.2%
イベント・大会で不定期に行った	6.5%	3.9%	1.1%	3.9%
行っていない	87.7%	90.9%	89.9%	89.1%
わからない	2.4%	3.7%	8.6%	4.8%

※「未実施」は「しなかった」「わからない」の計

○スポーツの価値

運動・スポーツに関して、「大切」「まあ大切」としている者は、全体の65.9%。
 運動・スポーツに対する価値は、日常的に運動している者ほど強く感じている。

Q39.あなたにとって運動・スポーツは大切なものですか

※「運動実施状況」とのクロス集計

n=20,000	週1日以上	週1日未満	未実施	全体	
大切	40.2%	19.1%	6.1%	23.4%	} 65.9%
まあ大切	49.4%	53.0%	28.5%	42.6%	
あまり大切でない	6.6%	16.4%	25.0%	15.4%	
大切ではない	1.4%	4.7%	19.3%	8.6%	
わからない	2.3%	6.8%	21.1%	10.1%	

※「未実施」は「しなかった」「わからない」の計

運動・スポーツに関する価値は、「健康・体力の保持増進」に感じている者が非常に多い。

Q38.運動やスポーツが個人や社会にもたらす価値についてあてはまると思うもの

n=20,000	いくつでも	もっとも強く感じるもの
健康・体力の保持増進	73.3%	51.3%
精神的な充足感	38.2%	5.2%
人と人との交流	37.1%	3.9%
リラックス、癒し、爽快感	27.7%	3.9%
達成感の獲得	25.7%	2.1%
フェアプレイ精神の醸成	23.9%	2.4%
豊かな人間性	22.3%	2.7%
青少年の健全な発育	19.6%	1.3%
他者を尊重し共同する精神	17.9%	1.3%
思考力や判断力の発達	16.5%	0.8%
地域の一体感や活力	15.1%	0.6%
リーダーシップ、コミュニケーション能力	14.5%	1.0%
長寿社会の実現	14.4%	0.6%
夢と感動	12.8%	1.6%
克己心、自制心	12.2%	0.6%
経済の活性化	7.8%	0.3%
生産性の向上、仕事・学業の能率アップ	7.5%	0.3%
国際相互理解の促進	6.7%	0.1%
我が国の国際的地位の向上	4.0%	0.1%
どれも当たらない	8.1%	8.1%
わからない	11.7%	11.7%

平成28年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」の概要

- 目的

スポーツの実施状況等に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。

※今回の調査より、登録モニターを利用したWebアンケートに切り替え。
人口動態に合わせた比率で20,000件の標本を回収。

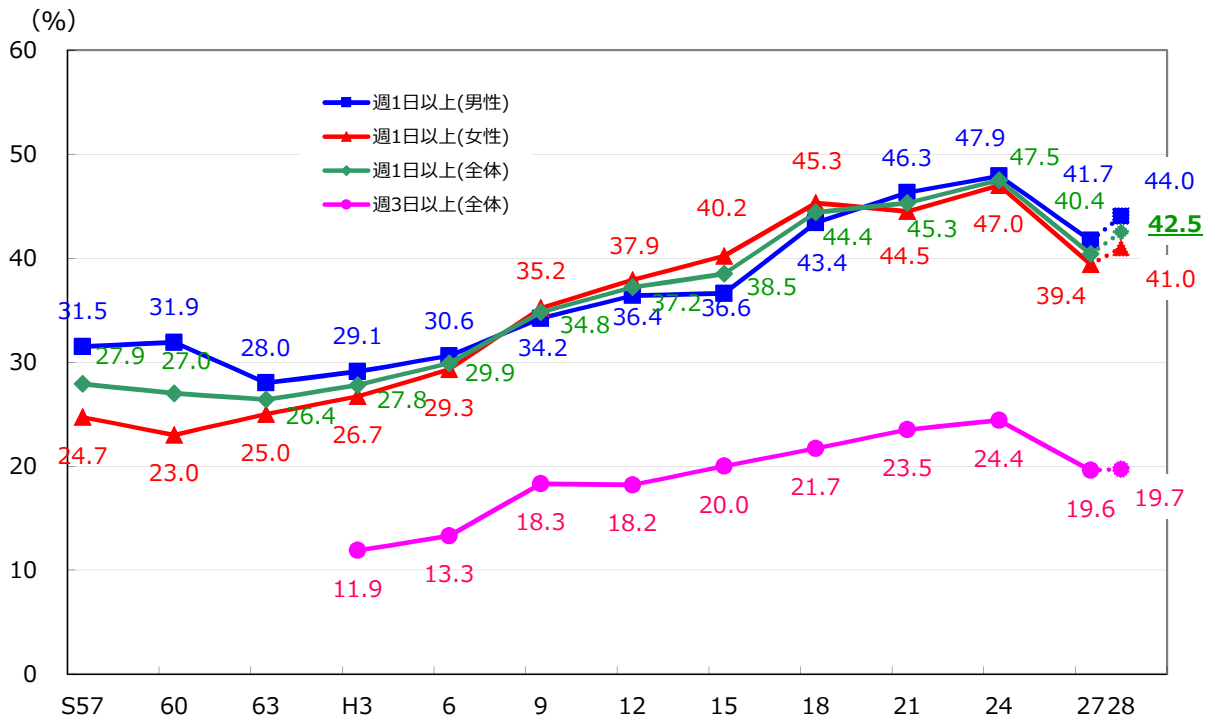
○調査要領

	今回調査	前回（H27年度「東京オリンピック・パラリンピックに関する世論調査」）
調査地域	全国	全国
調査対象	18～79歳の男女	20歳以上の男女
調査方法	登録モニター(約103万人)対象のWebアンケート調査	調査員による個別面接聴取
回収数	有効回収数 計20,000件	標本数 3,000人 有効回収数 1,897人（回収率 63.2%）
回収割付	調査対象の人口構成比に準拠した割付	層化2段無作為抽出法
調査実施期間	平成28年11月7日（月）～11月14日（月）	平成25年1月10日～1月20日

○標本の属性

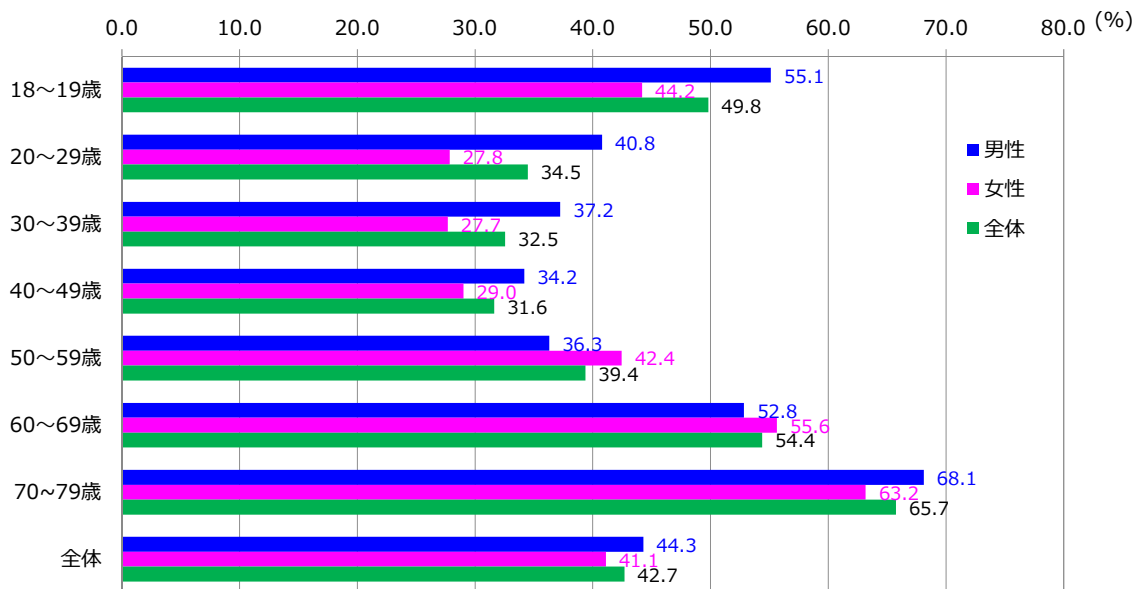
		件数	%			件数	%
全体		20000	100.0				
性別	男性	9932	49.7	職業	自営業主－専門・技術職	433	2.2
	女性	10068	50.3		自営業主－事務職	291	1.5
年代	10代	494	2.5		自営業主－販売・サービス・保安職	490	2.5
	20代	2655	13.3		自営業主－農林漁業職	89	0.4
	30代	3279	16.4		自営業主－生産・輸送・建設・労務職	139	0.7
	40代	3834	19.2		自営業主－その他	606	3.0
	50代	3193	16.0		(小計)自営業主	2048	10.2
	60代	4090	20.5		家族従業者	177	0.9
	70代	2455	12.3		雇用者－管理職	923	4.6
性年代	男性10代	254	1.3		雇用者－専門・技術職	1579	7.9
	男性20代	1361	6.8		雇用者－事務職	2963	14.8
	男性30代	1671	8.4		雇用者－販売・サービス・保安職	1389	6.9
	男性40代	1944	9.7		雇用者－農林漁業職	37	0.2
	男性50代	1598	8.0		雇用者－生産・輸送・建設・労務職	1000	5.0
	男性60代	1819	9.1		雇用者－その他	757	3.8
	男性70代	1285	6.4		(小計)雇用者	8648	43.2
	女性10代	240	1.2		(小計)就労者	10873	54.4
	女性20代	1294	6.5		主婦・主夫	4553	22.8
	女性30代	1608	8.0		学生	992	5.0
	女性40代	1890	9.5	無職	3234	16.2	
	女性50代	1595	8.0	その他	348	1.7	
	女性60代	2271	11.4	最終学歴	中学校	453	2.3
女性70代	1170	5.9	高校		6004	30.0	
都市規模 ※1	東京23区・政令指定都市	5250	26.3		短大・高専	2289	11.4
	東京都区部	1651	8.3		専門学校	1950	9.8
	政令指定都市	3599	18.0		大学	8468	42.3
	大都市	7804	39.0	大学院	831	4.2	
	小都市	5269	26.3	その他	5	0.0	
居住地域	町村	1677	8.4	家族構成	一人暮らし	3177	15.9
	北海道	848	4.2		夫婦のみ・子なし	5475	27.4
	東北	1396	7.0		夫婦・子あり	5263	26.3
	北関東	1090	5.5		親と同居(未婚)	3498	17.5
	首都圏	5800	29.0		2世帯以上同居	1642	8.2
	北陸	818	4.1	その他	945	4.7	
	東山	773	3.9	世帯年収	収入なし	335	1.7
	東海	2046	10.2		100万円未満	550	2.8
	近畿二府一県	2683	13.4		100～200万円未満	1094	5.5
	その他近畿圏	587	2.9		200～300万円未満	2020	10.1
	中国	1141	5.7		300～400万円未満	2529	12.6
	四国	599	3.0		400～500万円未満	2334	11.7
	九州	2219	11.1		500～600万円未満	1954	9.8
			600～700万円未満		1515	7.6	
			700～800万円未満		1241	6.2	
			800～1000万円未満		1539	7.7	
			1000～1200万円未満		780	3.9	
			1200万円以上		986	4.9	
			わからない		3123	15.6	

●成人のスポーツ実施率の推移



(出典) 「体力・スポーツに関する世論調査(平成24年度まで)」及び「東京オリンピック・パラリンピックに関する世論調査(平成27年度)」、「スポーツの実施状況等に関する世論調査(平成28年度)」

●世代別週1日以上スポーツ実施率の比較



(出典) 「スポーツの実施状況等に関する世論調査(平成28年度)」